# 平成 29 年度在宅介護支援センター事業報告書

要介護高齢者および要援護となるおそれのある高齢者や家族を対象に、その福祉の向上を図るため 要援護高齢者の実態把握につとめ、地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整を行い 支援しました。

#### 1 事業の概況

在宅介護支援センター(宮古市地域包括支援センターのブランチとして受託)

#### 2 事業の実施状況

- (1)総合相談支援事業
  - ① 来所・訪問等による初期相談支援のほか、必要に応じ継続的相談支援を行い、相談記録を整備しました。
  - ② 相談受付票等を用い、相談記録を整備しました。
- (2) 日常の連絡調整
  - ① 利用者、サービス提供事業者等の連絡に随時対応しました。
  - ② 必要に応じ、宮古市地域包括支援センターに報告しました。
- (3) 実態把握調査
  - ① 要援護高齢者等の基礎的事項、サービス利用状況、相談内容等の実態把握を行いました。
  - ② 当該年度初回相談時、状況変化があった場合に実施しました。 (要介護認定者についても毎年1回は実態把握調査を行いました。)
- (4) 巡回相談会等の開催
  - ① 地域に出向いて気軽に相談できる場を設定し、地域に潜在している相談ごとを掘り起こし相談 支援を行いました。
  - ② 多くの市民が参加できるよう地域のニーズに合わせて開催するよう工夫しました。
  - ③ 在宅介護支援センターが行う他の事業と併せての開催や介護者同士の情報交換の場としての開催などを工夫しました。
  - ④ 担当地区内に被災者が居住している場合には、被災者の参加にも配慮して開催しました。
- (5) その他総合相談支援業務の実施に係る業務
  - ① 福祉用具および介護用品の展示や紹介を行いました。
  - ② 本人・家族・近隣住民・地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受けて的確な状況把握を 行い、専門的または緊急の対応が必要かどうか判断し、専門的・継続的な関与または緊急の対応 が必要と判断した場合には、詳細な情報収集を行い、課題を明確にし、個別の支援、対策を行い ました。

## (6) 配食サービス

- ① 調理が困難な独居及び高齢世帯等の在宅高齢者もしくは心身の障害か傷病者等に対して、食事を提供するとともに、当該利用者の安否確認を行うことにより地域社会の中で引き続き生活して行くことを支援し、高齢者の保健福祉の向上を図るよう努めました。
- ② 衛生管理に十分注意を払い、事故のないよう努めました。

### 3 年間実績報告

# (1) 相談件数

相談経路別件数		相談方法別件数	
家族	336	電話	276
本 人	519	訪問	693
関係機関	231	来	53
民生委員	1	文 書	0
その他	13	その他	78
計	1, 100	計	1, 100

### (2) 相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
介護に関する相談	17	状 況 把 握	385
医療に関する相談	89	諸制度に関する相談	8
介護保険に関する相談	881	苦情に関する相談	1
高齢福祉サービスに関する相談	12	健康づくり保健事業に関する相談	0
施設入所に関する相談	14	財産・土地住宅に関する相談	2
福祉用具に関する相談	4	そ の 他	12
住宅改修に関する相談	4	計	1, 437

## (3) 実態把握調査件数

種別	件数
要介護者・要支援者	83
特定高齢者	2
計	85

# (4)巡回相談状況

事業名	会場	内容	回数・人数
山桜の会	和井内 1 番組公民館	体操・じゃんけんゲーム	2回・15人

## (5) 会議等

会議名	日時	会場
介護予防リーダー研修会	平成 29 年 5 月 16 日	宮古社協健やかホール
ブランチ会議	平成 29 年 5 月 25 日	宮古市役所

## (6) 配食状況

延べ登録者数	延べ配食数
79 人	1,228 食